

18_手術ありの患者の肺血栓塞栓症

a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

意義：周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることに繋がる。

定義の要約：

分子) 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数

(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上)

分母) 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

2019年度実績

891人

1,064人

83.7%

(girasol 全国平均値 91.6%)

